

インターナショナルスクールオブ長野小学部について

〈認可事項〉 私立小学校の設置（1次審査）

- 1 設置の趣意 別紙1のとおり
- 2 学校概要
 - (1) 目的 教育基本法および学校教育法に則り、初等普通教育を行い、児童の学力と人格の形成につとめ、社会の有為な形成者を養成することを目的とする。
 - (2) 名称 インターナショナルスクールオブ長野小学部
 - (3) 位置 松本市五常 6387 番地 1
 - (4) 開設時期 令和4年4月1日
 - (5) 設置者等
 - ① 設置者 松本市五常 6387 番地 1
学校法人 インターナショナルスクールオブ長野（認可申請中）
理事長予定者 ^{くりばやし}栗林 ^{りえ}梨恵
2012年4月～ 合同会社W I P 代表社員 就任
インターナショナルスクールオブ長野 設立
 - ② 校長予定者 ^{くりばやし}栗林 ^{りえ}梨恵

(参考1) 合同会社 WIP インターナショナルスクールオブ長野(ISN)

IB(国際バカロレア) 認定校。英語、日本語を中心に、多言語、多文化、探究の学びを展開している。

(参考2) ISN 各キャンパスの概要

2021年10月現在 (単位:人)

		南松本キャンパス (松本市)	島内キャンパス (松本市)	長野キャンパス (長野市)	上田原キャンパス (上田市)	古里キャンパス (上田市)	計
0歳児	プレスクール (※南松本・島 内キャンパスは 地方裁量型認定 こども園)						
1歳児							
2歳児							
3歳児							
4歳児							
5歳児							
小1	フリースクール 小学部						
小2							
小3							
小4							
小5							
小6							
中1	フリースクール 中学部						
中2							
計							

3 編制、施設・設備

(1) 収容定員 (基準: 1学級 40人以下)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	6
定員	25	25	25	25	25	25	150

(参考) 生徒数見込み

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
令和4年度							
令和5年度							
令和6年度							

(2) 教職員組織

区分		校長	教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	助手	事務 職員等	計
基準	計	1	1	6	—	1	—	1	10
R 4 計画	計	1	1	7	6	1	1	4	21
	専任	1	1	7	6	1	0	2	18
	兼任	0	0	0	0	0	1	2	3
R 9 (完成) 計画	計	1	1	8	6	1	0	9	26
	専任	1	1	8	6	1	0	8	25
	兼任	0	0	0	0	0	0	1	1

※教諭6人は小学校教諭一種免許所持。1人は中学校教諭一種免許（音楽）所持。

(3) 教育課程

学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	外国語	道徳	特別活動	学習の 時間 総合的な 学習の 時間	外国語 活動	探究	合計
1年	308		137		117	70	70		120		40	40			286	1188
	306		136		102	68	68		102		34	34				850
2年	316		199		114	80	70		118		40	39			212	1188
	315		175		105	70	70		105		35	35				910
3年	248	82	186	120		80	60		118		38	39	82	40	95	1188
	245	70	175	90		60	60		105		35	35	70	35		980
4年	247	123	189	120		80	60		118		38	39	76	38	60	1188
	245	90	175	105		60	60		105		35	35	70			980
5年	175	114	199	123		80	60	63	118	80	38	39	80		19	1188
	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70			1015
6年	176	114	199	120		80	78	62	120	78	39	40	82		0	1188
	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70			1015

上段：ISNの授業時間数（教育課程） 下段：小学校学習指導要領の授業時間数

探究：教科・分野にまたがった授業を学習指導要領に基づいた教科学習に上乗せして実施する。（詳細は別紙2のとおり）

(4) 校地

延べ面積 8,786.00 m² <松本市から賃貸借予定>

うち運動場面積 3,984.00 m² (基準: 児童数 240 人以下の場合は 2,400 m²)

項目		面積	説明
校舎敷地	校舎等敷地	4,802.00	旧松本市立五常小敷地
	その他	0.00	
	小計	4,802.00	
運動場	屋外運動場	3,984.00	旧松本市立五常小敷地
	小計	3,984.00	
合計		8,786.00	

(5) 校舎

延べ面積 3,552.86 m² <松本市から賃貸借予定>

うち校舎面積 1,886.86 m² (基準：児童数150人の場合は1,050 m²以上)

種別	室名	室数	面積	備考
校舎 (旧松本市立五常小)	普通教室	6	299.60	
	図工室・準備室	1	84.00	
	図書室	1	89.90	
	保健室	1	60.00	
	職員室	1	64.00	
	音楽室・準備室	1	94.15	
	便所	2	41.50	
	階段室	1	29.40	
	理科室・準備室	1	84.00	
	家庭科室・準備室	1	94.15	
	多目的ホール	1	128.03	
	給湯室	1	12.00	
	印刷室	1	12.00	
	校長室	1	36.00	
	放送室	1	36.00	
	その他廊下	1	506.62	
	資料室	1	31.21	
	物入れ	1	14.30	
	教材室	1	42.75	
	昇降口	1	127.25	
	校舎 計		1,886.86	
	体育館	0	0	※
	合計		1,886.86	

※体育館は、松本市四賀体育館（166,600 m²）を利用。

月曜日～金曜日の昼間、優先的に利用することを松本市長及び四賀地区会長それぞれ書面により了承済み。

(6) 校具、教具、図書及び備品

科目	品名	数量 (単位:点)	内訳				備考
		価格 (単位:千円)	R3	R4	R5	R6	
校具	机、イス等	670	228	110	142	190	
教具	打楽器、地球儀等	372	183	70	63	56	
備品	PC、体重計等	104	56	19	21	8	
図書		650	400	50	100	100	

4 開設費

財源		説明	開設費		説明	
科目	金額		科目	金額		
自己資金			校地			
借入金			校舎			
寄附金			校具			
事業収入			教具			
納付金収入			備品			
			図書			
			その他			
財源計	0 千円		開設費計	0 千円	財源残額	0 千円

5 授業料等

項目	経費	備考
授業料 (年額)	1,272 千円	月額 106 千円 *小学部に 2 人以上在籍する場合 第 2 子:1,144.8 千円 (月額 95.4 千円) 第 3 子以降:1,081.2 千円 (月額 90.1 千円) *小学部に 2 人以上在籍し世帯収入 600 万円未満の家庭は 第 2 子:636 千円 (月額 53 千円) 第 3 子:254 千円 (月額 21 千円)
入学料	30 千円	
施設設備費 (年額)	100 千円	*小学部に 2 人以上在籍する場合 84 千円

6 収支計画

(1) 令和4年度収支予算

科目		金額	積算根拠
収入の部	授業料		
	入学金		
	施設設備資金		
	補助金		
	付随・収益事業		
計		0千円	
支出の部	人件費		
	教育研究費		
	管理経費		
	設備関係		
計		0千円	
収支	当年度収支差額		
	前年度繰越収支差額		
合計		0千円	

(2) 令和5年度収支予算

科目		金額	積算根拠
収入の部	授業料		
	入学金		
	施設設備資金		
	補助金		
	付随・収益事業		
計		0千円	
支出の部	人件費		
	教育研究費		
	管理経費		
	設備関係		
計		0千円	
収支	当年度収支差額		
	前年度繰越収支差額		
合計		0千円	

(3) 準備が必要な自己資金

<私立学校等の設置等に関する審査基準>

設置認可申請時において、当該私立学校等の開設年度の経常経費（人件費、物件費、借入金利息の合計額をいう。）の2分の1に相当する資金を保有していること。

ただし、施設を自己所有しない場合は、当該私立学校等の開設年度経常経費の2分の1に加え、完成年度まで（開設年度から3年間を限度とする。）の経常経費の財源に充てる自己資金に相当する額を保有していること。この場合において、保有すべき資金額は開設年度の1年分の経常経費に相当する額を限度とする。

開設年度の経常的経費 (A)	開設時に保有が必要な現預金 (B=A)	自己資金 (C)

設置趣意書

インターナショナルスクールオブ長野小学部

1 インターナショナルスクールオブ長野小学部(ISN)とは

ISNは「世界水準の視野で生きる力を育てる国際教育」をスクールコミュニティで提供することを目的として、2017年から国際バカロレア(IB) PYP(3歳から12歳までを対象とした教育プログラム)を実践するインターナショナルスクールです。2021年度は、幼小中260名の園児・児童が松本市、長野市、上田市の合計5つのキャンパスで学んでいます。

ISNの探究の学びではスクールコミュニティの人材、自然、仕事体験、文化など、地域の資源が最大限に活かされるプログラムを展開しています。子どもたちの学びを通し、異年齢の地域の子も達、大人、組織、団体と共に、地域が繋がる、広がる、深まる好循環を実現しています。この世界水準の学びが、自然豊かな地方都市でクラス子どもたちの選択肢の一つになればよいと考えています。

2. 信州の教育ハブ、地域全体で創る生活と学びの環境

- (1) 子どもたちは、美しい自然に恵まれた長野県の地方都市で地域と連携して学びます。子どもたちは育った地域や人々に慣れ親しみ、学び育てられた環境を大切にします。そして、成人してもこの学びの故郷を大切にします。
- (2) 子どもたちは、英語を中心にした多文化・多言語の学びを行う一方で、日本語による教科学習も行います。こうして日本の文化や歴史を理解した子どもたちが、世界で活躍する時、見方や考え方に明確な違いが生まれます。
- (3) ISNは学校も子どもたちも地域と連携・協働していきます。ハード・ソフト両面で学習が校地を超えて展開するため、学びのハブとして人と人が繋がる場所となります。

3. 建学の精神

目的 (Our goal)

- Our vision is to empower all children with attitudes, skills and knowledge making the world reachable for them. 私たちのビジョンは、全ての子ども達に世界で活躍できる知識、スキル、態度(心)を与えることです。

目標 (Our objectives)

- ISN enhances every child's potential to live in harmony in a fast changing society.. 目覚ましい変化を続ける社会で、調和をもって生きるための能力を高めます。
- We see education as a means of uniting people. 学びとは人と人を繋ぐことです。
- ISN believes every moment has a learning opportunity. 学ぶことが出来る機会は、どの瞬間にもあります。
- ISN encourages every student to take an active role in their education. 子どもたち自身が学びの舵を取ります。

4. 学校設置予定地の事情、学校の必要性

<一条校設置の必要性>

長野県の公教育に「多言語多文化、探究の学び」の選択肢を創っています。多様な学びという子育てのインフラを整え、移住希望者に魅力的な環境を整えます。ISNの教育プログラムがより多くの人たちに広く深く理解されることで、このプログラムを希望する人が増え、長野県内の公教育に貢献・波及し、望む人には、どこでも誰でもこの教育で学べるようISNと同等な学びの環境が県内の各小学校でも実施展開できることを示すことを目指しています。

<在籍児童数見込み>

定員 150名	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総児童数(名)	83	100	115	125

※上記の在籍児童数見込みは、転校および卒業予定児童数を含みます。

※2021年度在籍児童数 小学部 66名

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
児童数(人)	21	10	15	10	5	5

2022年度在籍見込み数内訳

66-5+X (外部からの入学者) + プレスクールからの持ち上がり (18名)、

X: 外部からの入学者数は昨年度実績や資料問い合わせ・見学者数をベースに予測、

18名：2021年度年長児37名、過去の実績からプレスクール年長者の約半数が小学部へ入学していることから

※松本市と周辺地域の小学1年生から6年生まで各クラス定員25名、計150名

(現在 ISN 松本キャンパスには松本市、安曇野市、大町市、白馬村、塩尻市、諏訪市、岡谷市、茅野市、伊那市、長野市、上田市
などから通園通学)

探究の授業について

インターナショナルスクールオブ長野

当校は国際バカロレアの認定校として、国際的な視野をもつ日本人らしい国際人の育成を目指しています。探究の授業は英語で行われ、子どもは自分で立てた問いについて自ら情報を集め分析しまとめ、表面的な知識習得ではなく概念的知識を得ます。教員はファシリテーター（進行役）として探究学習の過程をサポートします。探究学習は課題の設定、情報収集、整理分析、まとめ・振り返りの4つのサイクルを繰り返すことで、人間が本来持つ学習・成長意欲や好奇心を育み、主体性を引き出します。また、変化の目まぐるしい予測不可能な社会の中で、当事者意識を持ち、社会発展に貢献する人材を育成するための最善の学習方法であると考えています。

国際バカロレアのプログラム内容である1年間の6つのテーマ学習では、算数、理科、社会、芸術、言語など教科の枠を超えた横断的な学びを行います。1つのテーマについて、約6週間かけて取り組み、1年間を通して6つのテーマ全てを学びます。

6つのテーマ

Who we are（私たちは何者なのか）

Where we are in place and time（私たちはどのような場所・時代に生きているのか）

How we express ourselves（私たちはどのように自分を表現するか）

How we organize ourselves（私たちは自分たちをどう組織しているのか）

How the world works（世の中の仕組みについて）

Sharing the planet（地球の共有について）

上記6つのテーマに関連した中心的アイデアを学年ごとに定め、教師が探究する点と主な概要を決めます。探究プログラム（別添 Program of Inquiry）に沿って探究学習と振り返りを繰り返します。IB 学習者像（探究する人、知識のある人、考える人、コミュニケーションができる人、信念のある人、心を開く人、思いありのある人、挑戦する人、バランスのある人、振り返りのできる人）の中から、各単元で高めたい学習者像を2つまたは3つ選び、ひとつのテーマ学習が終了した時にどのような自分になっていたかという目標を立て、教師、クラスメイト、保護者と共有します。終了後は、自分の目標がどのように達成できたかを振り返り、再度スクールコミュニティと共有し、次のテーマ学習へとつなげます。

少人数制クラスのため、教師は一人ひとりの子ども達の個性や能力に合わせたサポートができ、児童の学習の達成度を把握することが出来ます。授業では、クラス、グループ、ペアで英語のディスカッションを行って問題解決をすることが多いため、その中でコミュニケーション力が身につきます。さらに、社会見学、農業体験やボーイスカウト、地域の方や保護者などのゲストスピーカーを招いたり、シーズンプログラムで他校の小学生を交えて活動したりする中で、地域社会との繋がりを創り出しています。探究の単元のまとめとして最終課題に取り組みます。最終課題では、子ども達は学んだ内容を、どのように自分自身の生活、社会に貢献できるかを考えます。そして、動画、

作文、新聞、ポスター、スライドショーなどを作成し、英語で発表します。最後に単元を通して学んだことやどんなスキルを身につけたかを振り返ります。単元で学んだ過程をまとめたポートフォリオを家に持ち帰り、家族とも一緒に振り返りをして、新たな目標を立てます。

例) 1年生

テーマ: Who we are (私たちは何者なのか)

探究の単元: 人間関係 (権利と責任)

中心的アイデア: より強い人間関係の構築は幸福度に影響する。

探究の流れ: 1. コミュニティにおける私の関わり合い

2. 良好な人間関係を維持することは、私たちを助ける

IBの学習者像: 思いやりがある人

関連する概念: 家族、友情、仕事上の関係、地域社会、協力、コミュニケーション、人格

例えば、1年生のテーマ『Who we are (私たちは何者なのか)』では、探究の流れ1. で子どもたちが家族、友人、近所の人たちとの関わりを相関図に表してインタビューを行い、自分を取り巻く人間関係を学びます。そして、探究の流れ2.では、工作でフレンドシップスープを作ります。尊敬、思いやり、勇気、正直等、どんな材料をスープに入れたらよりよい人間関係を築けるかを考えて作成します。最終課題として、子ども達は単元を通じて学んだ人間関係の築き方を生かし、友達との衝突やクラス内の問題を題材に劇を作り発表します。